

かずさグリーンツーリズム 協議会

発表者

地域コーディネーター

健康運動指導士

豊島 大輝(とよしま たいき)

都会(君津市街など)の人々と
交流し里山ににぎわいを。



かずさグリーンツーリズム協議会 これまでの歩み

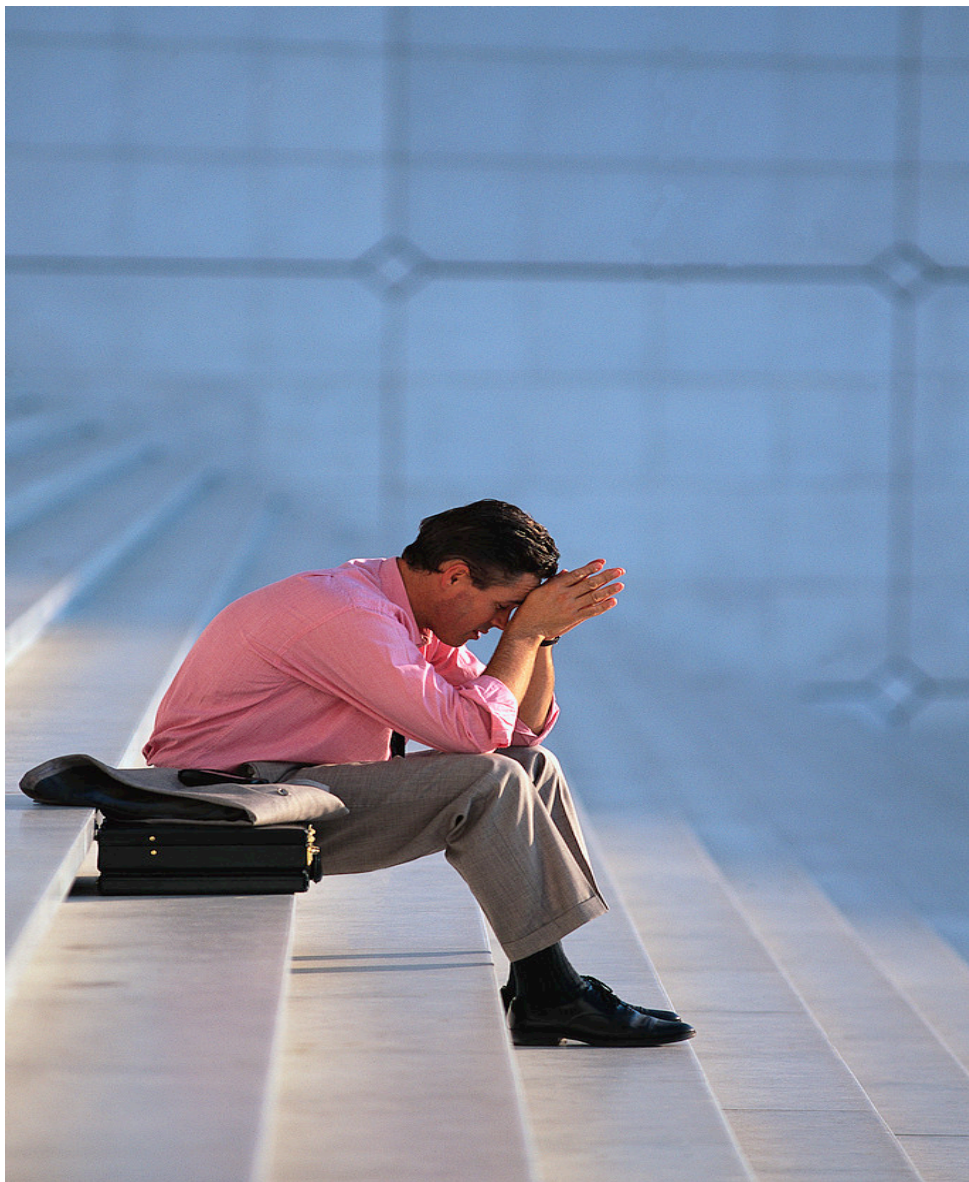
2011年 観光業者の呼びかけにより設立

【設立目的】

かずさ地域のグリーンツーリズム開発
(農林水産省補助事業への応募)

旅館経営者、ボート店、農家さん、自伐林家
里山の会会員、観光業者、コーディネーター。

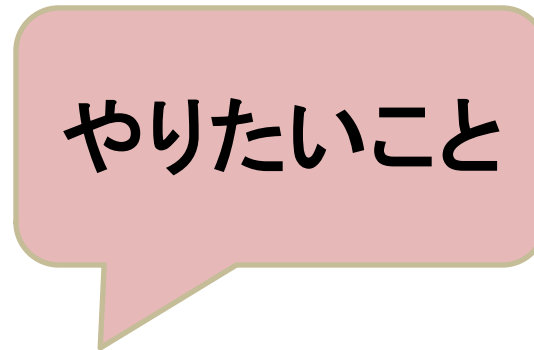
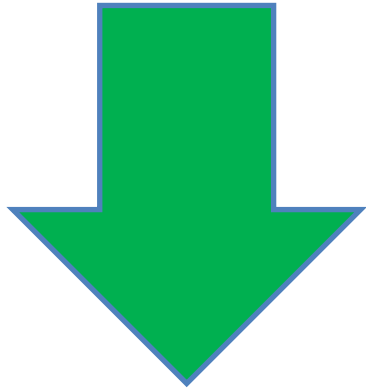
公募事業に応募した結果



落選

地域ネットワークが生まれる

近くにも普段、出会わない人達の交流(ミックス) が起こった。→里山シンポジウムと同じ？



お互いの里山地域での「都市農村交流」を

情報共有する地域ネットワークへと変化。

会員の活動







交流拠点は地域のコミュニティセンター









株式会社

薪ストーブと暖炉の専門店

アンデルセン・リビング

<http://www.andersen-living.com/>





交流拠点はログハウス







薪集め



交流拠点は東屋 (シニアの方が多い)



私たちの夢

都市農村交流 → 里山しごと作り → 人口増



私たちの夢

夢を、共有した都市農村交流

- ①里山整備、休耕地再生など課題から夢を見つけ仲間と共有する。
- ②交流拠点を探す、作る、整備する。
(古民家、ログハウス、空き民宿)
- ③夢を共有できる都市(市街)の団体、個人と交流を生み出し、里山を盛り上げる。

オータムフェスティバルは

結果ではなく、手段であること

あくまでも手段

地元の亀山の良さを沢山の方に知ってもらうため
つまりはお客様に知ってもらい、そしてまた再訪し
ていただくことでより亀山を観光地として認識して
もらい、年間を通じて沢山の方にお越しいただく。
つまりそこに観光地として自走していく産業がより
確立され、仕事雇用が生まれ生活を豊かにしていく
ことで、全国的に抱える過疎化、少子高齢化に対し
住民を増やしていく、地域が元気になる、笑顔が増
える、子供たちがのびのび育つそんな地域になって
いければと思っております。

新しい価値を作ることが全てではない

亀山湖の紅葉のように、今まであった価値に、
しっかり目を向けて角度を変えて情報発信をして
いくこと

地元の良さを、当たり前と思っているその良さを
地元住民がしっかり認識すること

お越し下さる方に地元の温かさでおもてなしをす
ること

変わらないことも変わっていくこともどちらも同
じくらい大事

ご清聴頂きまして

心
から
感謝
謝